

「有機農業の現在とこれからの考える」

セミナー開催の狙い

有機農産物、オーガニック食品に対する消費者の関心はこれまでになく高まっていると言われており、有機食品の市場は、2009年から2017年の8年間で、有機食品の市場規模は約4割拡大したと推計されている。一方、我が国の有機農業の取組面積は、近年増加傾向にあるものの、2018年現在で約2万4千ha、耕地面積に占める割合は0.5%に過ぎない。

一方、農林水産省は「みどりの食料システム戦略」(2021)を策定し、「2050年までに有機農業の取組面積を25%、100万ha」という数値目標は掲げ、関係者に大きなインパクトを与えている。

本セミナーでは、あらためてわが国における有機農業の現状と今後の方向性について、関連する技術開発の状況などの紹介と合わせて、意見交換を行います。

多くの方々の参加をお待ちしております。

開催日等

日時：令和4年11月18日(金) 13:15~15:45

開催形態：ハイブリッド開催

(1) 会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口 カンファレンスルーム 8C

住所：宮城県仙台市青葉区花京院 1-2-15 ソラプラザ

アクセスはこちら

<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-sendai-nishiguchi/access/>

(2) オンライン (Zoom(ウエビナー)を使用)

参集範囲：有機農業に関心のある方、行政・研究・普及関係、民間事業者の方 など

参加費：無料

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

<セミナープログラム>

- | | | |
|-------|---|-------------|
| 1. 挨拶 | 東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 | 13:15~13:20 |
| 2. 講演 | | |
| 1) | 有機農業の国際比較と将来展望
東北大学大学院農学研究科 教授 石井 圭一 氏 | 13:20~13:50 |
| 2) | 有機栽培技術の開発の現状
(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業研究センター
温暖地野菜研究領域 有機・環境保全型栽培グループ長 三浦 重典 氏 | 13:50~14:20 |

- | | |
|--|-------------|
| 3) 有機農業の実践者として
宮城県 大崎市 佐々木 陽悦 氏 | 14:20~14:50 |
| 4) 有機農業推進のための各種の施策について
農林水産省 東北農政局 生産部 生産技術環境課長 飛鳥 武昭 氏 | 14:50~15:20 |

3. 意見交換

申込方法等

「会場に参加される場合」と「オンラインで参加される場合」の申込方法が異なります。

○会場参加を希望される場合（先着 30 名様）

別紙、「会場参加申込書」に必要事項をご記入の上、11月17日までにお申し込み下さい。

（メールの場合、必要事項（氏名・所属・電話番号）をベタうちした内容でもよろしいです。）

定員に達し次第、お申し込みを締めさせていただきます。

○オンライン参加ご希望の場合（先着 500 名様）

当日までに、下記の登録フォーム（URL）からお申し込みください。

URL：https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_8D3J22-GRDW3tsgZsQco2A

（当研究会のHPにも掲載しております。）

※ 会場参加の場合の新型コロナウイルス対策に関するお願い

○検温・マスク着用・うがい・手洗い・手指消毒の徹底をお願いします。

なお、下記のケースに当てはまる場合は、ご参加を控えてください。

- (1) 37.5度以上の発熱がある場合
- (2) 体調がすぐれない場合（味覚・臭覚異常や疲労倦怠感を感じる時などを含む）
- (3) 保健所等の健康観察下にある場合
- (4) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

○新型コロナウイルス感染疑い発生時に自治体等より要請があった場合には、個人情報の開示にご協力ください。

資料

会場参加の方には会場で資料を配付します。

オンライン参加の方は、当研究会のHPへセミナー前日までに掲載予定の資料をご参考願います。

問い合わせ先

東北地域農林水産・食品ハイテック研究会 事務局（藤井）

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター内

TEL：080-2806-9926 FAX：019-641-7794

E-mail：tohoku-hightech@@kej.biglobe.ne.jp（ご使用時は、@を1ヶ削除願います。）

ホームページ URL：https://tohoku-hightech.jp/

・本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われるものです。